

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立松山南高等学校

学校番号 (2 1)

評 価 実 施 日		令和7年2月19日 (水)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	岡田 紀夫	地元企業関係者	学校評議員
	元永 学	自治会等関係者	学校評議員
	東海林登志子	地元企業関係者	学校評議員
	井上 敏憲	学識経験者	学校評議員
	中村 和憲	食文化・料理研究家	学校評議員
	川端 一徳	保護者	
	大野 ユキエ	保護者	
	小泉 さなえ	保護者	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 全体について	
・普通科、理数科、定時制、分校それぞれの役割を明確にした教育活動を行っていただきたい。 ・それぞれが素晴らしい成果を上げている。	・今年度の重点努力（指導）目標として、全日制「志高く心を耕し言葉を磨け」定時制「志の教育一夢に向かって心を耕し言葉を磨け」砥部分校「さわやかな目・豊かな心・確かな手を育てる」を掲げて活動した。今後とも、それぞれの学校の魅力を高める取組を行い連携を深めていく。 ・今年度も、全日・定時・分校が協働した取組を行ったが、今後も、更にオール南を意識して教育活動を実践していきたい。
(1) 全日制について	
・校舎新築に関する情報を外部へも発信してもらいたい。立て替えの工事がスムーズに進むことを期待。 ・北門付近で生徒を送迎する保護者の車が多い。通行禁止の東側に車の侵入が見られる。生徒だけでなく保護者にも周知していただきたい。 ・南高生の意識が高い。ヘルメット着用率も非常に高い。 ・SSHの活動が素晴らしい。特に小学生対象のプログラミング教室の取り組みが素晴らしいと感じた。	・改築に関する情報を、今後も適切かつ効果的に発信していきたい。 ・改築工事の影響もあり、これまで以上に周辺地域への配慮が必要だと認識している。保護者の方々にも理解・協力を求めたい。 ・ヘルメットの着用については、かぶり方を含め、今後も指導を徹底していく。 ・SSH先導的改革型Ⅱ期の指定を受け、全国のリーディング校として、STEAM教育を核とし、教科横断型授業、産学と連携したデータサイエンス、国際共同研究等に取り組んでいるが、今後も多くのコンテストに挑戦させていきたい。

・部活動で成果を上げているが、特に登山部のインターハイ2位は素晴らしい。 ・高い志を持って先生方や生徒の皆さんが日々努力したり頑張ったりしている姿がうかがえる。 ・先生方の熱心な指導の下、学校全体として大きな成果をあげているところが素晴らしい。 ・高校時代は一人ひとりのその後の人生にとって非常に大切な時期である。生徒の豊かな感性、可能性、輝きを伸ばすために良いところを「言葉にして伝える」ことが重要だと思う。 ・もう少し生徒に余裕をつくっても良いと思う。	・伝統を感じながら、校訓「自らを律せよ」のもと、生徒一人一人が高いレベルの文武両道を目指して良く努力した。 ・部活動においては、今後も、限られた敷地、限られた時間の中で創意工夫しながら取り組み、その中でも結果を出していく伝統をつないでいきたい。 ・生徒への言葉かけを大切にし、豊かな感性、可能性、輝きを伸ばす教育を実践していきたい。 ・生徒の取組状況を的確に把握し、学習時間の確保を含め、自ら学ぶ姿勢を育てていきたい。
(2) 定時制について	
・多様な生徒に対応する通信制にはない定時制の役割に期待する。 ・保護者の感想に感謝の言葉が多く見られるのは、先生方の熱心な指導のおかげである。中学校やフリースクールへの働きかけを積極的に行い、定時制の情報を伝えていただきたい。 ・学校が一丸となって先生方が子どもたち一人一人に接してくれているように思う。 ・生徒、保護者ともに評価点が高く、先生方の一人一人に寄り添う指導の賜物と感じる。	・定時制の生徒が減少傾向にある中、様々な事情を抱える生徒の受け皿として、その役割を果たしていきたい。 ・中予地区の中学校訪問の他、折に触れて学校紹介を行うとともに、学校HPなどで情報発信に努めたい。 ・今後も一人一人の生徒に寄り添い、きめ細かな支援や指導を行ってまいりたい。
(3) 砥部分校について	
・砥部分校の定員が倍増したが、多くの生徒が志願している状況は非常に喜ばしい。各方面での広報活動の成果であると感じる一方で、教職員の負担が増加していないか心配している。 ・基本的生活習慣の確立について評価が低いようだが、デザイン科としては、自分らしさを表現しつつ、挨拶を通して、他者とつながることの大切さを指導してほしい。	・新コース開設を控え、全国募集を開始し、今年度は広報活動に力をいれてきた。また、デザインに関する依頼も、特に砥部町からは積極的に受け、地域と連携した体制作りに努めてきた。志願者獲得において大きな成果があったものの、教職員の業務量は増加している。今年度の取組の経過を見極めた上で、スクラップできる業務を精選し、効果的に改善を図っていきたい。 ・引き続き「自らを律せよ」の校訓の下、「さわやかな目、豊かな心、確かな手」を生徒に育む、きめ細かな指導に努めてまいりたい。
2 自己評価の項目について	
・全日制の学校評価でいじめの項目がCであるが、事案の対応からいじめを未然に防ぐことができていたと感じた。 ・砥部分校の広報活動の評価がAとあるが、状況はどうか。 ・砥部分校の適切な勤務時間の項目がEとなっているが、教職員の勤務状況はどのようなになっているのか。	・日頃の的確な状況把握と、事案発生時の迅速な状況把握を行い、いじめの未然防止、早期解決に努めたい。 ・学校HPの閲覧者数が、一日平均160～200、Instagram・YouTubeの視聴者をプラスすると、数値目標としている一日の閲覧者数250人を超えている。広報担当教員が、生徒の活躍を丁寧にすくい上げ、アピールしてくれている成果である。 ・1か月あたりの時間外労働時間45時間以上には、半数以上の教員が該当している。新コース設置、生徒数増を控え、業務のスリム化を図り、教職員の負担を軽減することが喫緊の課題であると認識している。

3 学校評価アンケートについて ・学校行事における体育祭や文化祭、部活動への評価が高いのは素晴らしいと思う。生徒たちが充実した高校生活を送っていることが想像できる。 ・定時制アンケートにおける「食生活」「規則正しい健康的な生活」の項目については、将来のために大切なこととして生徒自身が理解を深めていけるよう引き続き指導をお願いする。	・生徒は学校行事に主体的・意欲的に取り組んでくれた。今後も、生徒の自主性・協働性を高められるよう充実した学校行事を運営したい。 ・基本的な生活習慣が身に付くように、引き続き指導を行ってまいりたい。
4 その他 ・県下有数の進学校ということで、学習成績の自己評価に比重がかかりがちだが、「自立」「自律」においては全て同じテーブルにあるもの。個性を認められることは自己肯定感を高め自信につながり、結果として伸びていくのだと思う。 ・オール松山南の一体感をどのように醸成しているのか。また、オール松山南の表記の統一をお願いしたい。	・学習活動は本校の教育の主軸ではあるが、学校行事や課外活動、探究活動などのあらゆる活動を更に充実させ、自己肯定感を高め、個性の伸長を図りたい。 ・本年度も文化祭や芸術文化発表会において、共同企画を実施できた。また、来年度導入するポロシャツのロゴデザインの製作にもオール松山南で取り組むことができた。今後も、生徒のオール松山南の意識の醸成も図り、生徒の意見を取り入れ、生徒の力を信じて育成していきたい。また、「オール松山南」の表記は統一する。